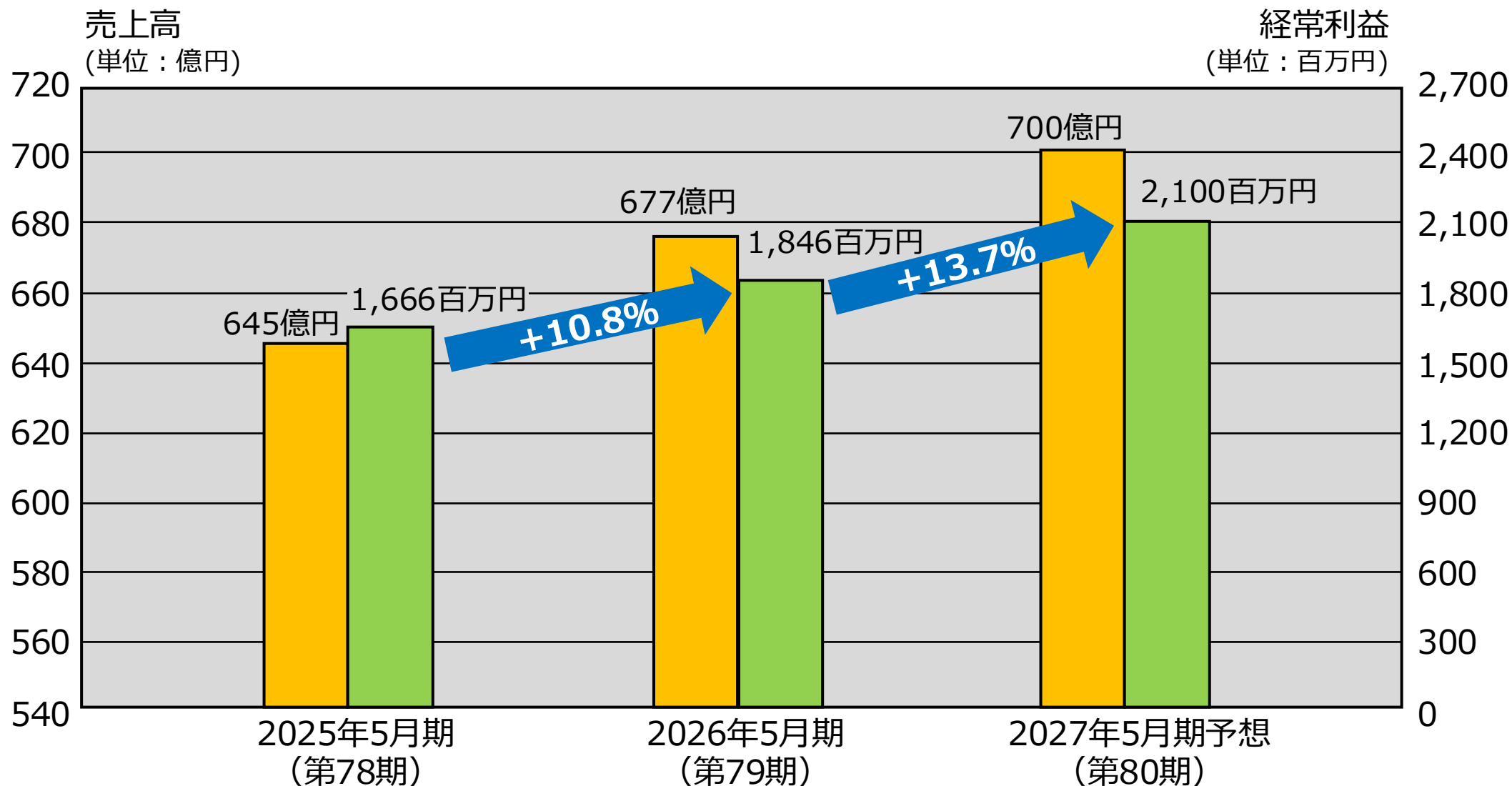


会社説明会

◀ カネコ種苗株式会社

連結売上高・連結経常利益の推移



当社の研究開発の取り組み

野菜・イモ



牧草



花き



養液栽培



当社の研究開発の取り組み

くにさだ育種農場

群馬県伊勢崎市



波志江研究所

群馬県伊勢崎市



宮崎育種農場

宮崎県小林市



A wide-angle photograph of a lush green melon field. The plants are densely packed, with large, heart-shaped leaves and visible vines. In the background, there's a blue barrel, some wooden trellis structures, and a white truck parked near some buildings under a clear sky.

熱帯地域向けカボチャの育種

世界でのカボチャ類栽培面積上位20カ国

順位	国名	栽培面積(ha)
1	インド	560,547
2	中国	412,110
3	カメルーン	157,269
4	中央アフリカ	110,444
5	トルコ	91,377
6	エジプト	64,344
7	バングラデシュ	61,100
8	ロシア	53,946
9	ウクライナ	51,900
10	ルワンダ	51,880

順位	国名	栽培面積(ha)
11	アメリカ	43,099
12	南アフリカ	40,599
13	キューバ	31,952
14	イラン	28,014
15	メキシコ	27,531
16	パキスタン	26,882
17	イタリア	21,090
18	フィリピン	19,262
19	マラウイ	19,156
20	スペイン	17,740
28	日本	14,221

2024年のデータ (Pumpkins, squash and gourds)

※出典：FAOSTAT

「セイヨウカボチャ」と「ニホンカボチャ」

セイヨウカボチャ

甘みが強くほくほく



カネコ交配
「栗五郎」



カネコ交配「ほろほろ」



カネコ交配「恋するマロン」

ニホンカボチャ

水分が多く粘質



色や形、大きさも様々

フィリピンでの二ホンカボチャの育成



フィリピンのカボチャ圃場



調査のために収穫した果実

フィリピンでのニホンカボチャの育成



果実品質や食味の調査



現地生産者圃場での収穫物

フィリピンでの二ホンカボチャの育成



圃場での耐病性チェック

新品種「MAXIMA 001」



**2026年
フィリピンにて販売開始**



東南アジア向け飼料用トウモロコシの育種

トウモロコシの種類

スイート種

青果用

ポップ種

ポップコーン用

フラワー種

粉挽き用

ワキシー種

食品増粘など

デント種

コーンスターチ用
飼料用

フリント種

食用
飼料用

ポット種

鑑賞用

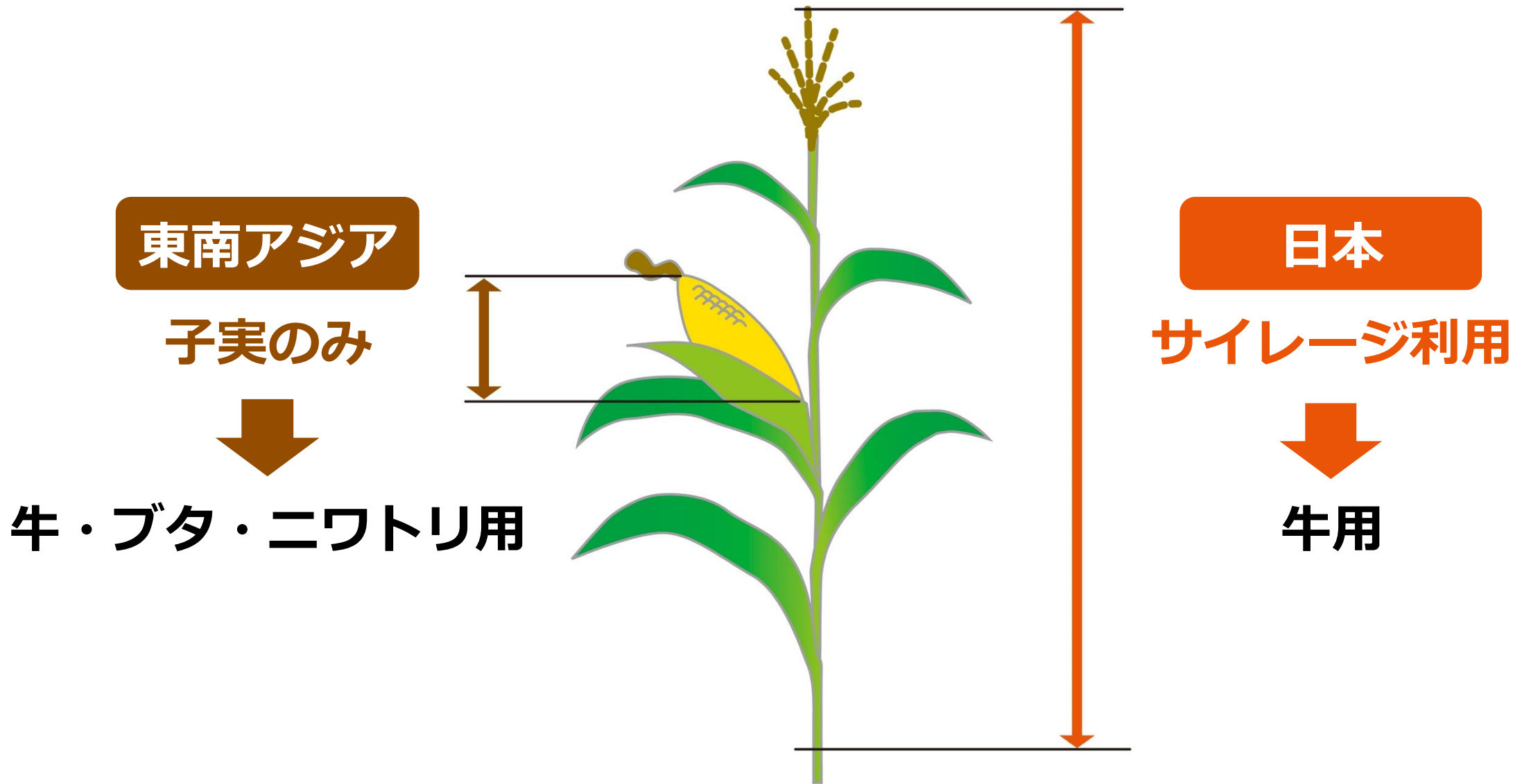
東南アジアのトウモロコシ市場規模

国名	推定栽培面積(ha)	推定種子需要(トン)
インドネシア	4,676,620	93,532
フィリピン	1,668,800	33,376
タイ	979,140	19,583
ベトナム	882,420	17,648
ミャンマー	462,280	9,246
カンボジア	158,500	3,170
ラオス	92,560	1,851
マレーシア	12,000	240
合計	8,932,320	178,646

ASEAN STATISTICAL YEARBOOK 2023、Table10.7の2022年のトウモロコシの生産量の数値を利用して推計

安定した需要が期待できる作物

飼料用トウモロコシの利用方法の違い



遺伝子組み換えトウモロコシへの対応

承認国

- ・ インドネシア
- ・ フィリピン
- ・ ベトナム
- ・ ミャンマー

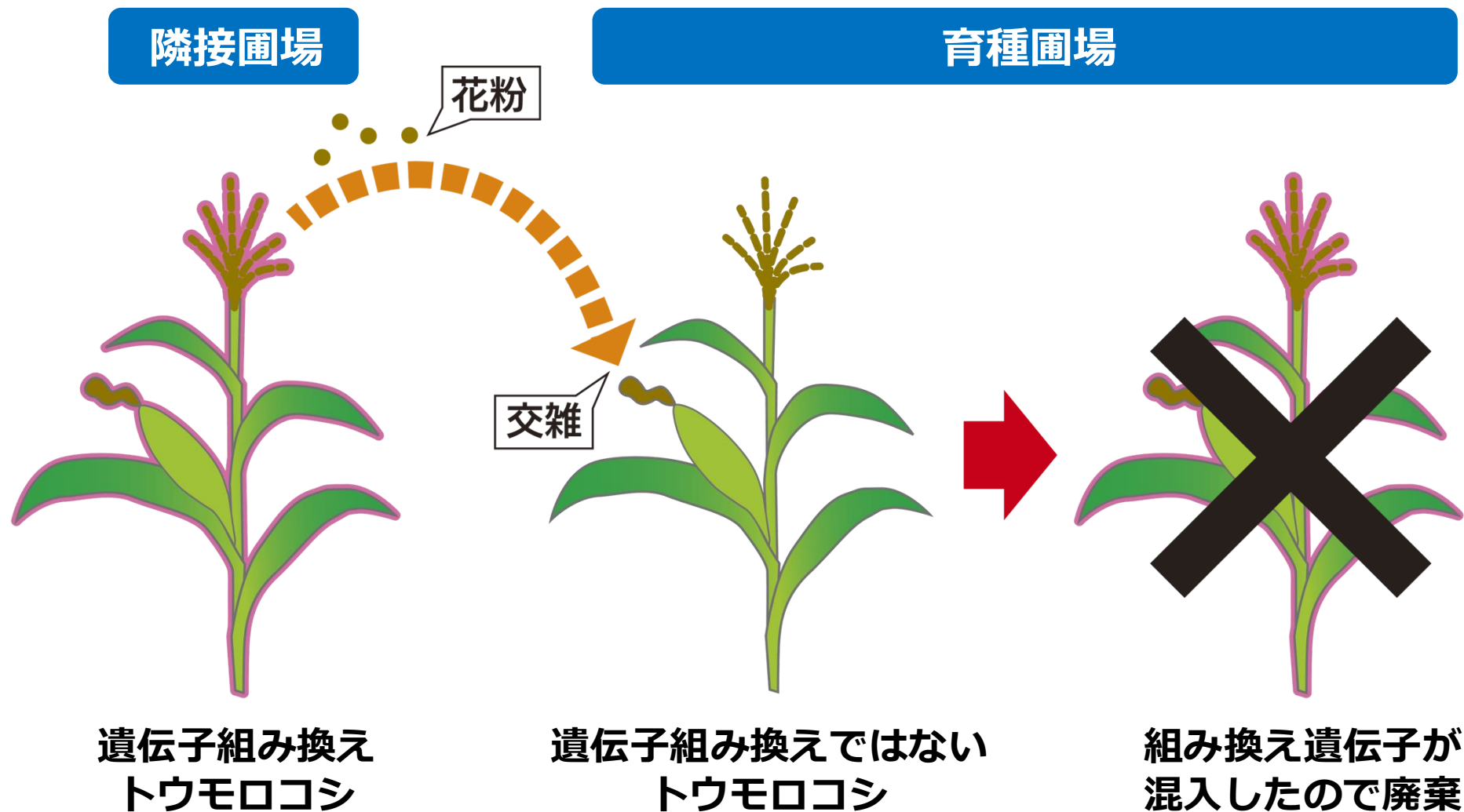


未承認国

- ・ タイ
- ・ カンボジア
- ・ ラオス
- ・ マレーシア

遺伝子組み換えトウモロコシへの対応は、国ごとに異なる

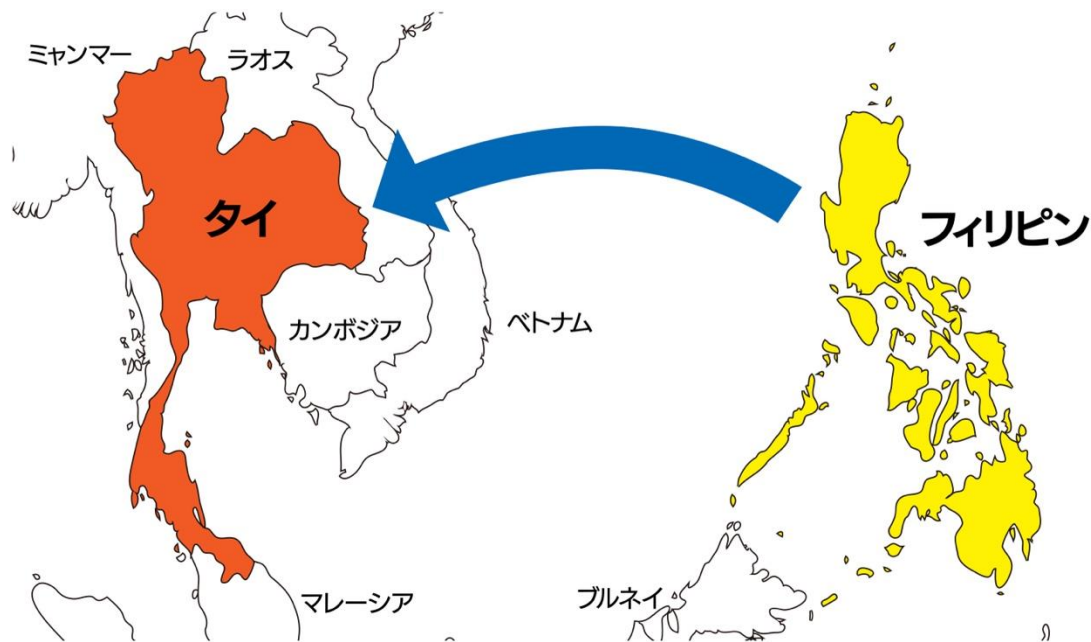
組み換え遺伝子の意図せぬ混入リスク



育種拠点をフィリピンからタイへ

タイ

遺伝子組み換えNG



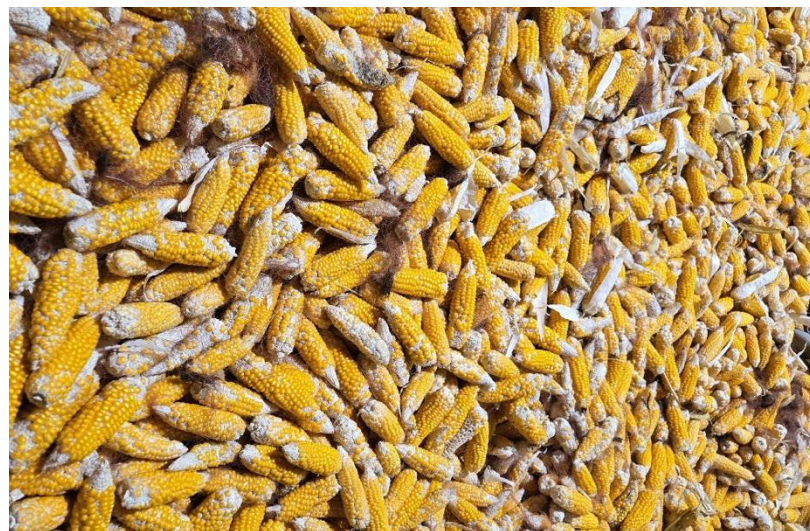
フィリピン

遺伝子組み換えOK



今後の展開

- ・ タイでの販売種子生産基盤の確立
- ・ タイでのASEAN諸国向け品種開発の継続



 **カネコ種苗株式会社**